

競技要項

1. 競技方法・競技時間

Division I - Group A・Group B

全チーム2回戦総当たりのホーム&アウェー方式によるリーグ戦。

ホームチームの設定は、ランキング上位チームが2戦目をホームチームと設定する。

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

Division II

全チーム1回戦総当たりによる予選リーグ戦。

予選リーグ上位3チーム、下位3チームに分かれ順位決定リーグ戦を行う。

予選リーグ戦でのホームチームは、ランキング上位チームとする。

順位決定リーグ戦のホームチームの設定は、予選リーグの上位チームとする。

正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

Division III ~ V

全チーム1回戦総当たりによる予選リーグ戦。

ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームと設定する。

正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

※ 全てのDivisionにおいて、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。

※ 順位決定

全てのDivisionにおいて、勝ち点制度とする。

勝ち3点、引き分け1点、負け0点 とする。

(Division II : 予選リーグでの勝ち点を、順位決定リーグ戦へ加算して最終順位を決定する)

尚、勝ち点同数の場合、次の規定により決定する。

- ① 勝点の多い順
- ② 当該校の対戦成績
- ③ 当該校同士の試合での得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑦ 全試合のペナルティタイム(分)の商なるもの
- ⑧ 平成25年ランキング上位校

☆ Division I 順位決定ラウンド

Group Final Round (グループ ファイナル ラウンド)

7位 (Division I -A 7位) VS 10位 (Division I -B 2位)

8位 (Division I -A 8位) VS 9位 (Division I -B 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チ-

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、2分間のインターバル後、4 on 4 のサドンビクトリー方式の5分間の延長ピリオドを行い勝敗を決する。

なお、同点の場合は、IIHFの競技規則に基づき、両チーム3名ずつのゲームウイングショットに

より勝敗を決する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

☆ Division I -B・II の入替について

13位 (Division I -B 5位) VS 16位 (Division II 2位)

14位 (Division I -B 6位) VS 15位 (Division II 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、IIHFの競技規則に基づき、ゲームウイニングショットにより勝敗を決する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

☆ Division 間の入替について

Play-Off Division Series

19位 (Division II 5位) VS 22位 (Division III 2位)

27位 (Division III 7位) VS 30位 (Division IV 2位)

35位 (Division IV 7位) VS 38位 (Division V 2位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規15分×3ピリオド 練習 10分 休憩1, 2ピリオド間5分、2, 3ピリオド間12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、IIHFの競技規則に基づき、ゲームウイニングショットにより勝敗を決する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

自動昇格・降格

20位 (Division II 6位) 自動降格 ⇔ 21位 (Division III 1位) 自動昇格

28位 (Division III 8位) 自動降格 ⇔ 29位 (Division IV 1位) 自動昇格

36位 (Division IV 8位) 自動降格 ⇔ 37位 (Division V 1位) 自動昇格

2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則及び公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

特に、以下の規則に関しては、徹底するようにするものとする。

1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。

フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する場合は、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。

2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから出して着用するものとする。

3. 補助規則

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。マウスガードの色は本体全部が白・ベージュ・クリア(透明)などでなく、着用していることを容易に確認できる色のものを使用すること。
- 4) 選手の怪我防止の観点から、プレーヤーの用具やユニホームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。
 - ① 整列時、正しく着用されていないプレーヤーには、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与えるものとする。
 - ② 試合開始後、用具やユニホームを正しく着用されていないプレーヤーに対してミスコンダクト・ペナルティを科す。
尚、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールプレーは一切受け付けられないものとする。
- 5) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 6) 試合の際に役員(監督・4コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りする事(ID着用しなければベンチ入りできない)。
- 7) ベンチには、GK2名・プレーヤー20名の計22名、役員6名までが入れる。尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 8) タイムアウトは各Divisionの全試合で、各1回使用できるものとする。
- 9) オールメンバー表には、GK1名を必ず記載する事。また、オールメンバー表は試合開始45分前までに必ず提出する事。(記載漏れや間違いのないの確認)
- 10) 試合当日(試合開始時)試合を遂行するのに必要な最低人数(GK1名以上を含む選手8名)に満たないメンバーしか集まらないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗(スコアは0対15)とする。(但し、Division VはGK1名を含む6名以上であればよい)
- 11) Division Iの各チームは最低2名以上(2年生以上)、Division II・IIIの各チームは最低1名以上(3年生以上、但しアイスホッケー経験者ならば2年生でも可)のレフェリー登録を義務づける。試合は必ず登録された者が担当する。
- 12) ホーム・ビジター制度は全てのDivisionの全試合において適用する。ホームチームはプログラムに記載されている対戦カードの左側とし、ベンチは本部席に向かって右に入る事。
- 13) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。
- 14) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、原則としてホームチームから先に速やかに退場する。但し、リンクの構造上無理が生じる場合には、様々なケースを認める。その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退場する。なお、後のチーム(氷上にいるプレーヤー・GK含む)は、一度自チームベンチに戻り、レフェリーの指示により退場する事。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームに戻らなかった場合は、レフェリーの判断により違反したチームに対しベンチ・マイナーペナルティを科すものとする。

15)ベンチドアマンの取り扱い

- ① 試合に出場しない選手登録をされている学生を2名以内、ベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する事。(但し、役員6名に含まれない)
- ② ベンチドアマンは、棄権防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しい装備をしていない場合はその試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ(ベンチマイナー)は科せられない。

16)試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止とする。

17)ベンチ入りする学生スタッフ(マネージャー・トレーナー)は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。レフェリーは規定に違反している学生を発見した場合、チームスタッフに対して該当者をベンチから退場させるように注意する。この場合、ペナルティ(ベンチマイナー)は科せられない。

4. 試合中の傷害

試合中に障害を負った選手、チームは所定の用紙を持って東京都アイスホッケー連盟に届ける事。また、試合中に起こった障害に関して応急処置は行うが、その後は各チーム及び個人の責任とする。観客も同様である。

5. 罰則

チーム連絡会・レフェリークリニック・表彰式・オフィシャル当番校及び当番レフェリーに遅刻、欠席、棄権した場合や連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

6. デイビジョン枠

平成24年度から一部変更した。特別な理由がない限り、デイビジョン枠は変更しない

ランキング	Division	
1	Division I	Group-A (8大学)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	Division II	Group-B (6大学)
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17	Division III	
18		
19		
20		

ランキング	Division	
21	Division-III	
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	Division-IV	
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

ランキング	Division	
37	Division-V	
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		

ランキング45に埼玉医科大学が新規加入。

平成26年度
関東大学アイスホッケーリーグ戦
参加大学 43 大学